

進路指導室へようこそ2

前橋女子高校進路指導部

令和6年度 MJ 進路通信 第29号

令和6年10月11日(金)発行

■「大学入試を知る」(第8回:外部検定利用入試とは?)

大学入試において課される試験においては、共通テスト以外では教科ごとの個別試験や小論文など、大学独自の問題が出題されますが、合否の判定にあたっては、外部資格試験の結果を利用するところもあります。代表的なものとしては、実用英語技能検定(英検)が挙げられますが、これらの資格やスコアをもっていることで、入試に優位にはたらくことがあります。外部検定を利用した入試としては、次のようなタイプのものがあります。

①入試の出願要件として課されるもの

検定の級やスコアの保有が、出願の資格・条件として義務付けられているケース。例えば、「英検2級以上保有のこと」など。入試当日は英語の試験が免除される(英語以外の科目で合否を判定する)ことも多い。

大学	学部	募集組織	方式	対象	活用方法		英検		TOEIC	TEAP	
					受験資格化	出願基準	実用英語	CSEスコア		TEAP	CBT
群馬大	情報	情報	推薦 I GFL特別	個別	○		2級				
東京外国語大	言語文化	言語文化[英語]	学校推薦型	個別	○		2300	1560	309	600	
東京海洋大	海洋生命科	食品生産科	学校推薦型A	個別	○		準2級		160	280	
一橋大	法	法律	学校推薦型共	共通テスト	○		1級				
新潟大	工	工[建築]	総合型	個別	○		準2級	625	135	235	
国際教養大	国際教養	国際教養	総合型 I	個別	○		準1級	1100	300	700	
東京都立大	都市環境	地理環境	一般推薦	個別	○		1700	625	135	235	
青山学院大	総合文化政策	総合文化政策	個別学部日程A方式	共通テスト	○		2100	940	260		
上智大	文	英文	推薦公募制	個別	○		準1級	○	280	470	
立教大	経済	経済	自由	個別	○		1950	1150	225	420	
早稲田大	文化構想	文化構想	英語4技能利用方式	個別	○		2200		280	470	

②取得スコア等により、共通テストや個別試験の得点の代用ができるもの

検定の級やスコアを、英語(外国語)の点数として利用するパターン。例えば、「英検2級=80点」「英検準1級=90点」など。外検を換算した得点と実際の英語試験の得点のうち、高い方を採用するケースが多い。

③取得スコア等により、入試の得点に加算されるもの

検定の級やスコアにより、入試の成績に得点に加算されるパターン。得点換算と同様、段階別の加点が多いため、取得している級やスコアのレベルによってはかなりの高得点も期待できる。

大学	学部	募集組織	方式	対象	活用方法				英検		TOEIC	TEAP	
					試験	みなし満点イ	みなし得点イ	高得点採用	加点	実用英語		CSEスコア	TEAP
埼玉大	工	環境社会デザイン	学校推薦型共	共通テスト		①200 ②160 ③120	○				○		
千葉大	国際教養	国際教養		個別	①○			③40		①2500 ②2500 ③2300	①1760 ②1760 ③○	①375 ②375 ③○	①740 ②740 ③○
高崎経済大	経済		英語重視推薦	個別				①50 ②20		①準1級 ②2級 ③準2級			
学習院大	国際社会科	国際社会科	プラス	個別		①150 ②140 ③130 ④120 ⑤110 ⑥100				①2630 ②2540 ③2304 ④2260 ⑤2120 ⑥1980 ⑦1980	①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○ ⑥○ ⑦650	①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○ ⑥○ ⑦210	①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○ ⑥○ ⑦310
明治学院大	文	英文	A日程英語得点換算	個別		①140 ②120	①○ ②○			①準1級 ②2級 ③2級	①2304 ②1980 ③1980	①○ ②○ ③225	①○ ②○ ③420
明治大	経営		全学部統一英語4技能	個別		①150 ②135 ③120				①準1級 ②2088 ③1980 ④1980	①○ ②○ ③○ ④790	①○ ②○ ③○ ④225	
早稲田大	国際教養	国際教養		個別		①20 ②14 ③7				①1級 ②準1級 ③2級			

④判定優遇・合否参考

出願書類の評価や合否判定の際に、検定の級やスコアの保有者は優遇される(有利になる)というパターン。主に、総合型・推薦型選抜で利用される。

ここに掲載したのはほんの一部です。詳しくは各大学の募集要項等で確認してください。また、資格については有効期間がありあまり早く取得してしまうと肝心の出願の際に賞味期限切れ?になってしまうこともありますので注意が必要です。合格やスコアを証明する書類は大切に保管しておきましょう。MJ-Carrer+

■「志望理由書」を書いてみませんか？

大学入試の出願の際、特に学校推薦型選抜や総合型選抜においては「志望理由書」の提出が求められる場合があります。「志望理由書」とは、文字通り「その学校（学部・学科）に入学したい理由」について記した書類のことであり、最近是一般入試でも提出を求められるケースも増えていきます。入学したい理由に加え、「将来の希望」や「この学校で特に取り組みたいこと」などを記入することもあり、もちろんその書類自体が評価の対象となるほか、面接試験等においてはその志望理由書を踏まえて質問されることもあります。

志望理由書を書くにあたっては、その大学を目指すきっかけのみならず、その目標のために今までどんなことを頑張ってきたのかもアピールする必要があります。一朝一夕に書けるものでもないので、1・2年生の皆さんも一度自分の志望校について深く考え、一度志望理由書を書いてみてはどうでしょうか（志望校へのラブレターです）。改めて自分の気持ちを整理することで志望校への思いが大きくなるかもしれません。

■先輩からのメッセージ

2学期も折り返しを過ぎ、やらなければいけないことが増えてきて焦りを感じ始める時期かもしれません。昨年度の卒業生から、秋の過ごし方についてアドバイスをいただきました。

長崎大学歯学部 Aさん

少しでも、皆さんの力になれば嬉しく思います。

3年生の皆さんの中には、大きなストレスを抱えている人も多いのではないのでしょうか。私もこの時期本当に苦しくて、何度も泣いたことを覚えています。やはり大事なものは、プレッシャーに負けないことです。

- ・模試は事実だけを受け入れるようにしました。伸びるチャンスだと思い込むようにしていた気がします。（なかなかできませんでしたが…笑）
- ・友達との会話をするようにしました。学校と駅の間など、短い距離であってもちょっとしたリフレッシュになると思います。
- ・モチベーションも大切にしていました。志望校で生活している自分や趣味を楽しんでいる自分を思い浮かべていました。

また、私は1年生のときも、2年生のときも、この時期は苦しい思いをしました。

1年生は文理選択、科目選択の時期だと思います。理系に進みたいという意味とは裏腹に、理系科目が苦手で文系科目が得意だった私は、理系に進むのを躊躇したことをよく覚えています。

2年生のときはなかなか成績が伸び悩む状況に焦り、目標を見失ってしまいました。今考えると、本当にもったいない時間を過ごしていたと思います。ただ、いざその状況に置かれると自分自身を客観視することは非常に難しいことだと思うのです。

だからこそ、皆さんにおすすめしたいのは、先生方に相談することです。私自身、先生方のアドバイス、応援が勉強のモチベーションとなり、心の支えになりました。その結果、志望校にも合格することができたのだと思います。先生方は皆さんのことをよく見てくださっているので、ぜひ些細なことでも相談してみてください。頑張ってください。応援しています。

《優秀答案例》

私は■■大学商学部で対外マーケティングを中心としたマーケティング戦略について学ぶことを志望している。その上で、総合商社に就職し、外国との貿易取り引きを円滑に行い、国内の経済成長をうながすことのできる人になりたい。

私は高校一年生の夏から一年間、アメリカ合衆国に留学した。そこで地元の高校に通い、生活することで私はアメリカのさまざまな文化や産業を目にし、経験した。また、高校での授業では経済とマーケティングを選択していたので、授業内で日本とアメリカとの販売戦略のちがいや顧客のニーズのちがいを学んだ。また、アメリカ人の同級生とのディスカッションを通してマーケティングに対する考え方のちがいを知り、興味をもった。また、日本へのアメリカ産業の進出・展開が遅いこと、そして日本文化への誤解が多いと感じた。アメリカには日本の商品・文化が流入してきてはいるものの、それらの多くが別物として扱われ、アメリカに溶け込んでいなかった。これらの経験から、私は日本の経済成長のため、そして他国と日本との国交を商業の観点から強めたい。そのために総合商社に就めて、それぞれの国の文化産業をよりスムーズに正しく伝え、それを各々の国に合わせた工夫を施し、輸入・輸出を進めたい。

私の夢を実現するためには、国内のマーケティング戦略を学ぶことと同時に対外マーケティングについても学ぶことが必要不可欠である。それぞれの国の文化・産業やそこに住む人に合わせてどのような戦略を立てるかを学ぶことでより貿易をスムーズに行うことができると考えるからだ。高校二年の夏に貴校のオープンキャンパスに参加し、学生に対する教授の人数が多く、指導が手厚く多岐の知識や専門分野をもった教授が多いことに魅力を感じた。また、私は一度留学をしたが、今度は外国で専門分野について学んだり、研究を行うためにもう一度留学したいと考えている。そのため、留学制度の充実している貴校は自分にとって最適な大学である。

文化が異なれば、そこに住む人も異なり、人が異なれば、商業も異なると私は考える。貴校で学んだ知識を生かして外国との貿易取り引きにおいて、金銭的利益だけでなく、他の分野においても輸入国側、輸出国側の利益やメリットが最大になるような貿易取り引きを行うことのできる工夫をしたい。

多岐の細部までの知識をもつ多くの教授がいて、さらに留学制度が整っている貴校で学ぶことで私の理想とする形で日本国内の経済成長に役立てると考え、私は■■大学商学部に行くことを志望する。

